

# CMSで サクサク更新 ウェブサイト

ウェブサイト  
イントラネット  
ホームページ



text: 増田"maskin"真樹 illust: 小松恵

## 第7回

## Movable Typeを使って情報配信サイトを作る③ スタイルシートで印象をガラッと変える

ウェブサイト  
イントラネット  
ホームページ



### テンプレートを使えば見た目は自由に換えられる

Movable Typeの最大の魅力の1つは「**テンプレートシステム**」にある。これを使えば、記事のページだけでなくスタイルシートやXMLメタデータなどもテンプレート化できる。またMovable Type独自の「**テンプレートタグ**」を使えば、データベースから抽出する項目を自由にコントロールすることも可能になるのだ。今回はテンプレートシステム全体の構造と、デザインするうえで重要となるスタイルシートの編集の方法を紹介していく。

### Movable Typeの デザインテンプレートの仕組み

Movable Typeには「**テンプレートシステム**」というものが搭載されている。すでにインストールしているユーザーならご存じの方も多いかと思うが、あえて説明しておくことにしよう。

テンプレートには大きく3つの種類があり、それぞれのルールに従ってデータベースに保存されている記事に適用され、HTMLのファイルとしてパブリッシュ(書き

出し)される仕組みになっている。

- ・「**インデックス**」  
トップページや見出しリスト
- ・「**アーカイブ**」  
個別の記事やカテゴリーページ
- ・「**各種機能ごと**」  
コメントやトラックバックのページ

テンプレートの編集や作成は、標準メニューの「**Templateの編集**」(図1)をクリックすればいい。それぞれのテンプレートファイルを編集することで、Blogサイトのレイアウトやデザインを定義できる。具体的にどんなものがあるか、標準でインストールされているものを見てみよう(163ページを参照)。たとえば「**インデックス** (Index Template)」(図2)リストの最上部に「**Main Index**」がある。これは出力ファイルが「**index.html**」、つまりBlogサイトのトップページのテンプレートで、Blogの概要や、最新の記事リストがどのように表示されるかを定めるテンプレートだ。

またインデックスには、Blogサイトのスタイルシートもテンプレートとして設定されている(Stylesheet)。スタイルシートは、

図1 Movable Typeの標準メニュー



「Templateの編集」をクリックすれば各種のテンプレートを編集できる。

色や文字組み、組み方によってはレイアウトまでも指定できるファイルだ。Movable Typeでは、テンプレートでスタイルシートを記述すれば、自動的にそれがサイトに反映されるようになっている。今回の解説では、このMain IndexテンプレートとStylesheetのテンプレートを使ってカスタマイズの解説をしたい。

その他、Blogのサマリー情報(メタデータ)である“RSSフィード”のためのテンプレートや、XML-PRCというアプリケーションなどからBlogを操作するときを使うメタ情報(RSDなど)もテンプレートで定義しておけるようになっている。必要であれば、さらに新しいタイプのテンプレートを登録することもできる。たとえば、RSSの新しいバージョンやFOAFといった新しい概念のメタデータが登場したときも、比較的容易に対応することが可能になっているのである。

これらのリストの右から2番目にある「Rebuild?」という項目は、このテンプレートからBlogのファイルを自動的に生成(Rebuild)するかどうかのパラメータだ。テンプレートファイルの編集画面で「Index TemplateをRebuildするとき自動的にこのTemplateをRebuildする」にチェックを入れればファイルが書き出されるようになる。チェックを外せば何も起こらないの

で、予備のテンプレートを保管する場合などに活用できる。

さて、その他の種類に移ろう。「アーカイブ(Archived-Related Template)」は、カテゴリごと(Category Archive)や日付ごと(Date-Based Archive)にエントリーをまとめて保存するHTMLファイルのテンプレートだ。エントリー単体のHTMLファイルテンプレート(Individual Entry Archive)もここに保存されている(図3)。

「その他のテンプレート」では、コメントページ(Comment Listing Template、Comment Preview Template、Comment Error Template)やトラックバック(TrackBack Listing Template)のほか、アップロードした画像をポップアップさせるときのテンプレート(Uploaded Image Popup Template)が用意されている(図4)。

### スタイルシートを入れ替えてみる

テンプレートシステムについて説明してきたが、Blogのルック&フィールを変更したいなら、まずはスタイルシートの編集から始めるのがいいだろう。

Movable Typeに標準で添付されてい

るインデックスなどのHTMLテンプレートは、図5のような要素を用いて構成されている。それぞれはDIVタグのクラスやID(要するにレイアウトパーツごとに付けられた名札、たとえば「<div id="links">」)で表現されており、ほとんどがレイアウトにおけるブロック単位で構成されている。

たとえば、BlogのページにHTMLとして書き出されるMain Indexテンプレートは以下のような構成になっている。前述した

図5 Main Indexの構成

```

header
(各種のメタデータやJavaScript)

body
・banner
・content
  blog
    date
    blogbody
    posted
  blog.....
・links
  calendar
  sidetitle
  side
  sidetitle
  side.....
・syndicate
・powered
  
```

図2 テンプレートの種類:インデックス

Template の名前	出力ファイル名	Rebuild?	Delete
<a href="#">Main Index</a>	index.html	Yes	<input type="checkbox"/>
<a href="#">Master Archive Index</a>	archives.html	Yes	<input type="checkbox"/>
<a href="#">RSD</a>	rsd.xml	Yes	<input type="checkbox"/>
<a href="#">RSS 0.91 Index</a>	index.xml	Yes	<input type="checkbox"/>
<a href="#">RSS 1.0 Index</a>	index.rdf	Yes	<input type="checkbox"/>
<a href="#">Stylesheet</a>	styles-site.css	Yes	<input type="checkbox"/>

主に使うのは「Main Index」だろう。「Stylesheet」を使えばデザインを大幅に変えられる。

図3 テンプレートの種類:データ保管用

Template の名前	Delete
<a href="#">Category Archive</a>	<input type="checkbox"/>
<a href="#">Date-Based Archive</a>	<input type="checkbox"/>
<a href="#">Individual Entry Archive</a>	<input type="checkbox"/>

過去の記事であるアーカイブの表示に関するテンプレート。ポストした記事が非常に多くなるとカテゴリ別アーカイブ(Category Archive)のページが肥大するので修正したくなるだろう。

図4 テンプレートの種類:その他

その他の Template	Edit
<a href="#">Comment Listing Template</a>	<input type="button" value="Edit"/>
<a href="#">Comment Preview Template</a>	<input type="button" value="Edit"/>
<a href="#">Comment Error Template</a>	<input type="button" value="Edit"/>
<a href="#">TrackBack Listing Template</a>	<input type="button" value="Edit"/>
<a href="#">Uploaded Image Popup Template</a>	<input type="button" value="Edit"/>

これらのテンプレートは、特別なことがなければそのまま使っていて問題ないが、コメントを書くときに表示されるページが凝っていたら、読者もついコメントを書きたくなるかもしれない。

とおり、body部は、デザインブロックの集合体のような構造だ。また、標準で添付されている「stylesheet」テンプレートの構成は、図6のようになっている。行頭のピリオドはDIVタグのID、#はクラスを表す。

スタイルシートは、このDIVクラス(レイアウトブロック)ごとに、背景の色、枠線、文字のフォント、大きさなどを指定できるので、スタイルシートファイルに手を加え

るだけで、デザインに関するほとんどの要素を定義できるようになっている。

とはいえ、スタイルシートをすべて自分で作るのは比較的難しいので、まずは用意されているいろいろなスタイルシートをそのまま使ってみよう。

Movable Typeのサイトから、標準のテンプレートに適したスタイルシートをいくつか入手できるので、それをコピー&ペース

トするだけでデザインを切り替えることができる。Movable Typeのウェブサイト [www.movable-type.com](http://www.movable-type.com) のトップページの左側のメニュー「Resources」から「Default Styles」をクリックすれば、7種類のスタイルシートが表示され、それぞれ「SCREENSHOT」ボタンでプレビューもできる。

好きなものをコピーして自分のBlogで使ってみよう。標準メニューの「Templateの編集」から「Stylesheet」テンプレートを選び、「Templateの中身」を全部削除してから使いたいスタイルシートをコピーして貼り付け(図7)。あとは「SAVE」ボタンをクリックしてから「REBUILD」ボタンをクリックしてリビルドするだけだ。スタイルシートを変えるだけで、左にあったメニューが右になったり、色が変わったり、記事が罫線で囲まれたりと、イメージがガラッと変わるのがある(図8)。

図6 スタイルシートの構成要素

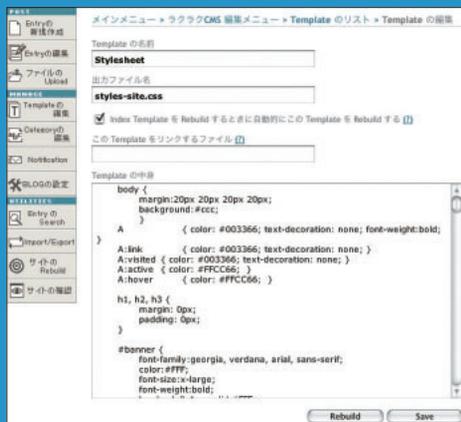
```
body
A
A:link
A:visited
A:active
A:hover
h1, h2, h3
#banner
#banner a,
#banner a:link,
#banner a:visited,
#banner a:active,
#banner a:hover
.description
#content
#container
#links
.blog
.blogbody
.blogbody a,
.blogbody a:link,
.blogbody a:visited,
.blogbody a:active,
.blogbody a:hover
.title
#menu
.date
.posted
.calendar
.calendarhead
.side
.sidetitle
.syndicate
.powered
.comments-body
.comments-post
.trackback-url
.trackback-body
.trackback-post
.comments-head
#banner-commentspop
```

### Stylesheetテンプレートを覗いてみよう

さて、それではスタイルシートはどのような記述でデザインを変えているのだろうか。先ほど比較したスタイルシートについて、細かいところを見てみよう。

前述したとおり、ここで紹介するテン

図7 Templateの編集



「Templateの中身」を変更したら忘れずに「SAVE」で保存しよう。

図8 スタイルシートをいろいろと変えたサイト



左上がデフォルトのスタイルシートを使ったサイト。スタイルシートを変えるだけで印象が大きく変わっているのがわかるだろう。すべてMovable Typeのウェブサイトから入手できるスタイルシートを使ったものだ。

レートは、それぞれの基本構成は同じになっている。たとえば図10と図12のどちらでも、構成要素として「.blogbody」がある。このblogbodyというのは、エントリーした記事が表示される部分で、元サイトの画面(図9)で言えば、右側がそれに当たる。Trendyスタイルシート適用後のサイト(図12)では、全体的に暗い色で統一されているが、エントリー表示部分はグレーのラインで囲まれているのがわかる。これらはblogbody部に対応するスタイルシートの記述によって変わっているのだ。

元サイトの画面(図9)とスタイルシートのblogbody(図10)を並べて見てほしい。このAの部分(フォントの色)で、#333

となっているのでグレーだとわかる。Bのbackgroundが言葉のとおり背景色だ。ここでは#FFFなので白だ。画面と対比すればよくわかるだろう。

それに対して、Trendyスタイルシートでは(図12)ざっと見ただけでも項目が増えていて、さまざまな部分で変更点があるのがわかる。たとえば元サイトにもあったフォントの色(A)は#CCCとかなり白味の掛かったグレーとなっていて、Bの背景色の部分では#333とほとんど真っ黒という色が使われている。そして最大の違いは、エントリーが枠で囲まれていることにある。C~Eにある「border」関連の記述がそれだ。「1px solid」は枠線の種

類を表し、この場合は「1ピクセルの実線」という定義になる。

**ブロックごとの色の塗り分けもできる**

今度は、もう1つのスタイルシートRustyを適用した場合を見てみよう(図13、図14)。この場合、トップタイトル部、エントリー部、右サイドメニューの色が3色で分けられている。

この3か所はそれぞれ、トップタイトル部は「#banner」、エントリー部は「.blogbody」、右サイドのメニュー部は「#links」というコ

図9 デフォルトのスタイルシート



(Clean)を使ったサイト

図11 Trendyスタイルシートを適用したサイト



色が変わって枠が付いた

図10 スタイルシートのblogbody部分

```
.blogbody {
  font-family:palatino, georgia,
  verdana, arial, sans-serif;
  color:#333;           A
  font-size:small;
  font-weight:normal;
  background:#FFF;     B
  line-height:200%;
}
```

図12 スタイルシートのblogbody部分

```
.blogbody {
  font-family:verdana, arial, sans-
  serif;
  color:#CCC;           A
  font-size:small;
  font-weight:normal;
  background:#333;     B
  line-height:140%;
  border-left:1px solid #666;   C
  border-right:1px solid #666;  D
  border-bottom:1px solid #666; E
  padding:10px;
}
```

ンテナで表現されている。

中心となる.blogbodyでは、Aのフォント色(グレー)と白い背景(B)が指定されている。

上部に相当する#bannerのFが、トップ部の茶色を指定している。これは先ほど紹介したTRENDYスタイルシートでも同じで、数値を変えればトップバナー部の色を変更できる。ここで注目したいのは、先ほど説明した「border」が定義されていることだ(C~E)。画面(図13)を見ると、トップバナーの周りが点線で囲まれているのがわかるだろう。borderの定義部分で「dotted」という単語があるが、これが点線を示している。

また、#linksでは、明るいオレンジ色の背景(G)が定義されている。

デザインだけでなくレイアウトも変更できるのだ。

サイドメニューの配置を指定するのはこれまでと同じ#linksブロックだが、エントリーの含まれるブロックの配置を指定するのは#contentだ。#contentは、エントリー部を含むすべてのコンテンツが並ぶレイアウト部分のスタイルを決めるものとなっている。デフォルトではabsolute(A)とmargin-left:225px(B)とすることで、「コンテンツ部は必ず左側を225ピクセル空けて配置すること」と指定されている。そして、サイドメニュー#linksは普通に配置すれば左端になるので、その幅を20ピクセルに指定するというわけだ(C)。

エントリー部が右にあるTrendyやRustyでは#contentはどのように書かれていたのか見てみると、DとEの部分で「コンテンツ部は、常に左寄せで、ブラウザウィンドウに対して65%の比率を保つ」という定義がされている。Eの「float:left」

というのはimgタグの「align=left」と同じで、左寄せになるだけでなく、このコンポーネントを他のコンポーネントが回り込むようになっている(図15)。

以上の説明を参考に、必要な部分を編集していくだけで、かなり大胆なデザインをすることが可能だ。さらに、スタイルシートのコマンドを使えば、次のようなカスタマイズも可能になってくる。スタイルシートはまだまだできることがある。専門書も多数出版されていると思うので、ぜひそちらを参考にしてほしい。

・フォントを変える  
用意されているスタイルシートは英語用のものなので、フォントには英語が指定されている。フォントを変えるだけでも見た目の印象は大きく変わるものだ。表示に使うフォントを変えるには、各ブロックのfont-familyを変更する。どんなフォントを指定すればいいかわからない場合は、

スタイルシートで  
レイアウトも調整できる

ところで、デフォルトの表示(図9)では左にあるサイドメニューが、その他のスタイルシートを使った表示では右側にあるのに気づいただろうか。スタイルシートはデ

図13 Rustyスタイルシートを適用したサイト



レイアウトの境界線に施された枠線が「点線」になっている

図14 Rustyスタイルシート

```
【エントリー部】
.blogbody {
  font-family: verdana, arial, sans-serif;
  color: #666;           A
  font-size: small;
  font-weight: normal;
  background: #FFF;     B
  line-height: 16px;
}

【トップタイトル部】
#banner {
  font-family: georgia, verdana, arial,
  sans-serif;
  color: #FFF;
  font-size: x-large;
  font-weight: bold;
  border-left: 1px dotted #FFF;   C
  border-right: 1px dotted #FFF;  D
  border-top: 1px dotted #FFF;    E
  background: #993300;           F
  padding: 15px;
}

【右サイドメニュー部】
#links {
  background: #FF9933;           G
  padding: 15px;
  border: 1px dotted #FFF;
}
```

思い切ってfont-familyの行を削除してしまい、ブラウザのデフォルトのフォントで表示させるのも手だろう。

・HTMLタグごとのデザイン

たとえば、筆者のBlog「METAMiX! maskin's Blog」では、次のような行をスタイルシートに追加しており、blockquoteタグを使った際、色の付いた枠が表示されるようになっている。

```
blockquote{ border-width:thin;
border-color:#29737b;border-
style:solid;padding:5px; }
```

HTMLさえ知っていれば  
カスタマイズできる

スタイルシートだけでなく、もちろんテンプレートのHTMLを直接編集することもカスタマイズできる。冒頭で説明したとおり、Main Indexなどのテンプレートは、基本的にHTMLの構造になっている。それでは、早速ページの最上部にロゴを配置してみよう。

ロゴの画像をアップロードしたら、Main Indexテンプレートのbannerのブロックに次のようにごく普通の<img>タグを記述す

る。ここではrakurakucms.gifがロゴファイルなので、自分で使うロゴファイルの名前に変えること。

```
<div id="banner">
<h1>
<a href="<#MTBlogURL#>" >
<br /><#MTBlogName#>
</a>
</h1>
</div>
```

まとめ

今回はスタイルシートを使ったカスタマイズを説明した。もちろんスタイルシートの知識がないとすごく凝ったカスタマイズはできないが、いろいろと試してみるといだろう。多少スタイルシートの変更に失敗しても、重要なコンテンツが消えたりしないのがCMSのいいところだ。さて、MTでの表示のカスタマイズには、今回紹介したもの以外に「テンプレートタグ」という重要な機能がある。次回は、CMSの柔軟さをさらに活用できるテンプレートタグの使い方を学んで、Movable TypeによるCMS構築の深層へさらに進んでいこう。

実際にMTで作った本連載のサポート用のサイトも参考してほしいURL②。筆者のブログ内URL③にも「CMS」というカテゴリーが用意されているので最新動向はここでチェックだ。

Movable Typeウェブサイト  
URL① <http://www.movabletype.org/>

「ラクラクCMSブログ」  
URL② <http://www.metamix.com/rakuraku/>

METAMiX! maskin's Blog  
URL③ <http://www.metamix.com/>

MTの書籍が発売されます!

Movable Typeを使ったBlogの入門書がインプレスから8月4日に発売される予定だ。筆者も製作に携わっているので、発売日には書店やウェブ書店でチェックしてほしい。



『Movable Typeで今すぐできる ウェブログ入門』  
240ページ / B5変型 /  
定価 本体1,800円 + 税)  
ISBN:4-8443-1812-8

図15 スタイルシートによるレイアウトの指定

<pre>【デフォルトのスタイルシート】  #content {   position: absolute;   background: #FFF;   margin-right: 20px;   margin-left: 225px;   margin-bottom: 20px;   border: 1px solid #FFF; }  #links {   padding: 15px;   border: 1px solid #FFF;   width: 200px; }</pre>	<pre>【Trendyスタイルシートの#content部分】  #content {   float: left;   width: 65%;   background: #333;   margin-right: 15px;   margin-bottom: 20px; }</pre>
--	---

図16 テンプレートを編集してタイトルロゴを入れた



この連載と連動したBlogにめっちゃめっちゃカッコ悪いロゴを配置した。みなさんはぜひページが映えるロゴを配置していただきたい。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)